

介護体験を



聞く会



ホームページ
<http://www.yanagida-kaigo.co.jp/>

会報第198

平成30年8月15日発行

発行所…(有)明寿会

住所…川崎区中島1-133-3

電話044-2333-0061

*今月の例会は25日です。

沖繩からのメッセージ

元白梅学徒隊
中山きく

私は七三年前の沖繩戦当時、沖繩本南部の激戦地で、軍の野戦病院で傷病兵の看護に当たった。「元白梅学徒隊の一人」です。ここに、戦争体験者としての「平和への思い」を皆様にお伝えして、本日の集会参加とさせて頂きます。まず初めに、西日本豪雨で犠牲になられた方々に哀悼の誠を捧げ、心よりお見舞いを申し上げます。

さて本日ここに、戦後七三回目の「原子爆弾被爆の日」を迎えられ、犠牲者の慰霊供養と、現在も原爆症で苦しんでおられる方々に思いを寄せ、「原水爆禁止」と「不戦

の誓い」を新たにすることが開かれました。

私の年代は、最も強烈な軍国主義教育を施された年代です。食料も衣類も困窮するなかで、「欲しがりません勝つまでは」「お国のために」と軍事基地づくりに励み、戦争への罪悪感もなく、命の尊厳も理解できないまま、軍国主義教育の申し子らしく、なんのためらいもなく学徒動員に応じました。沖繩戦から学んだことは、「戦争は人類にとつて最も不幸な忌むべき行為である。戦争は絶対悪である。戦争に正義はない」「次世代に遺したいものは武力をともなわない平和である」ということです。戦後七年目には日本は主権は回復しましたが、沖繩だけ二七年間アメリカの施政権下に置かれ、戦

後二七年経って、ようやく日本に復帰しました。復帰にともなつて、国家公務員だった私の夫は広島県に転勤になりました。

二年間の広島滞在で原爆資料館に通い、被爆者の方と交流して原爆体験を学びました。私は、女子学徒としての戦争体験を次世代に伝える使命に気づかされました。「過去を知らないと同じ過ちを犯す虞(おそ)れ」がある。次世代の人人に「私の様な戦争のある人生を歩ませてはならない」と悟ったのです。

その後、元白梅学徒の仲間たちと戦争体験記録を共著して、戦後五〇年目から証言活動を始めました。しかし、どんなに手を尽くしても戦争で失われた命が蘇ることはないので。遺族の悲しみ、戦争体験者の心の傷は年



月とともに深まるばかりです。

沖繩が日本に復帰してから四六年が経ちました。沖繩の現状は「基地の負担過重」「米兵による事件・事故の多発」「オスプレーの強行配備」「辺野古新基地建設のごり押し」など、県民の暮らしを脅かす基地被害は、枚挙に暇がないほどです。私の活動は「安心・安全・真に平和な沖繩」を目指して、「沖繩戦の姿」と沖繩の現状を伝えること」です。戦前、沖繩県には旧制中学校と女子高等学校が合わせて二一校

ありました。壮絶な沖繩戦に動員された学徒は約二〇〇〇人です。戦死者は約一〇〇〇人です。戦後七〇余年をへて初めて、私たち元学徒は男女や学校の垣根をこえて連携結束し、戦争体験を若い世代に継承してゆこうと立ち上がりました。活動の原点は「平和維持」「戦争反対」です。もちろん「原水爆禁止」です。沖繩の先人たちが残してくれた至言「命どう宝」を堅持して世界の恒久平和を求め続けてまいります。

(平成30年8月6日原水爆禁止広島集会での発言より…長周新聞より抜粋)



ディサービス集合写真

第198回介護体験を聞く会

平成30年7月28日
(土)

出席者

職員…院長、柳田CM、柏倉、飯田、杉山、三浦、板井、吉田、佐和田

(家族)出席者…野々目さん、藤田さん、長島さん、森下さん夫婦、中島さん(事業所)…多田さん

①本日の事例検討は10年ほど前からデイケア室を利用されている方です。

平成22年に自宅玄関前でつまずき、左足首関節の複雑骨折で入院手術された方で術後リハビリ訓練をしてその後からシルバーカーを利用した生活になっていきます。しかし



自立精神が旺盛で、約1年要介護1で退院後には毎日自己訓練に励まれ、現在は要支援2がついています。

家族や地域の人々に守られ、介護施設の専門ケアを受けながら日々過ごしておられます。

②デイサービス、デイケア、グループホーム家族相談会

③グループホーム運営推進会議

④地域の音楽会についての意見交換

*意見交換

柳田ケアマネージャー…wさんは、もう八年位デイケアに来てますけど今までで要介護になった事ありません。圧迫骨折されたとき。左足首複雑骨折大変でしたよね。今は本人が頑張り屋なので要支援2ですか。

院長先生…経済も自分で管理してるの？

三浦さん…はい、自分のお小遣いなどは管理しているそうです。

院長先生…年金とか？三浦さん…今年八月に年金支給日なのですが

前回ATMの使い方がわからなくなったりしていただくのでお嫁さんが下ろしてくるよと言いました。返事はとくになく心配しているそうです。

柳田ケアマネ…食事も最近までは自分で作ってたんですよ。ここ1年位は作ってなく、朝、昼は100円ローソンでおかずを買ってきてるんですよ。夜はお味噌汁、おかず一品くらいお嫁さんが作って持っていくって

なるべくお嫁さんには迷惑かけたくないという精神ですよ。

柳田ケアマネ…理容室をやったというの吉川さんの所と共通するところがありませんか？

吉川さん…そうですね。一番困っているのは薬ですよ。絶対お嫁さんには渡さないの。

柳田ケアマネ…みなさんの所では困っている事はありませんか？長島さんの所は？

長島さん…私が全部やっています。朝昼晩と薬を分けて入れておくとあとは自分で飲んでます。

たまたま薬を1個入れ忘

れたことがあったんですけど自分でも数えているみたいで「1個足りないぞ」と言われた事がありましたよ。いっぱいありますよ。過ぎて大変ですよ。

柳田ケアマネ…吉川さんの所は？

吉川さん…そうですね。私の所は薬だいぶ減りましたし、今はお薬の管理は楽になりました。

③グループホーム運営推進会議

○ホームからの報告

人事異動・退職をされる方がおり、ご利用者には不安を与えてしまい、不穏になられる方もいらっしゃいました。いつもの日課をしても馴染み関係の構築をしている段階のためお互いに気を使っていた月となりました。

★6月16日 グループホーム緊急ショートステアが1件ありました。

★6月21日 ご家族の方が病院受診に同行し、遠方に住まれているため病院同行が困難になり6月26日から訪問診療を1名開始しました。心音・

血圧等測定し、薬の調整などを行っています。日中の様子を医師や看護師に伝え、適切な対処の仕方についてお聞きしています。

☆7月半ばより外壁・スプリンクラーの工事を開始し、足場を組み立てたり、ネットを張るなどです。いつもと違う空間になっていきましたが、動揺することなく過ごして頂いています。

☆地域との関わりとしては、川崎大師の風鈴市やあじさいが綺麗に咲いている公園までドライブに行き、日中は、近場の公園や商店街での買い物もしています。これから夏祭りや御神輿見学・六郷土手花火大会見学していきます。12月中旬に南大師中学校2年生の職業体験を計画している段階です。

グループホーム佐和田

川崎大師 風鈴市

今年も猛暑の中 熱中症に留意して、川崎大師

の風鈴市にグループホームの方々も参加しました。今年も、グループホームの3階の居間も、猛暑でエアコンの室外機も冷却しきれず、室温30℃で過ごして参りました。風鈴市では、健康に注意しながら、涼しい場所での休憩や水分を十分に取って対応しました。

グループホームのほとんどの方が参加できました。皆さん外の空気を吸いリフレッシュしながら、童心に帰って風鈴の音を楽しんでいます。目の不自由なH様も、風鈴の音するね、とまるで見えている様な感想が伺えました。

目の不自由さが、カバーできる様に情景が浮かぶコメントを耳元でお話させて頂きました。御利用者の喜ぶ顔にこちらも励まされています。これぞ認知症介護の醍醐味ではないかと日々発見と喜びの連続です。グループホーム内でも、南部鉄の風鈴の音を楽しんで頂きました。職人技 日本の匠の技術に関心し無事帰宅の途に着きました。運転手

さんや皆様の多大な協力に感謝しています。今後のレクリエーション活動を通じて豊かな生活QOL(生活の質)の向上をスタッフ一丸で努めて行きたいと思っています。地域の皆様等のご支援宜しくお願い申し上げます。(柳田デイサービス、グループホーム旭町 板井)

H30年4月の医療・介護・障害・のトリプル改定から4ヶ月

川崎区内の有料老人ホームの運営会社の交代、長年地域のデイサービスとして地域の医療、介護関係者が運営してしてきた所の閉鎖が相次いでいる。それと同時に8月から、介護保険の利用料に3割負担が導入され、実際柳田居宅利用者の方も12%おられる。年間所得が340万以上の人が相当する。

4月からの改定では、改定率が0.54%のアップといわれているが、長時間のデイケアと短時間間のデイサービスが大きい

なマイナス改定になっていく。デイケアは10%、デイサービスは5%の減額改定。グループホームは現状維持。ケアマネは1%アップ。訪問ヘルパーは身体介護が1%アップ。買い物や掃除・調理など一番利用が多い生活援助は1%減額改定。その上生活援助中心への1ヶ月の利用回数上限が10月から実施される。1ヶ月の上限回数は月30回程度と想定されている。それと同時に10月から混合介護が解禁され、デイサービスでは①事業所内において、理美容に加え、巡回健診、予防接種を行う事②利用者個人の希望により事業所から外出する際に、保険外サービスとして個別に同行支援を行うこと。③物販、移動販売、レンタルサービス④買い物等代行サービスの提供について一定のルールを遵守する場合には、保険外サービスとして提供できる。

又同一建物等居住者にサービス提供する場合の減算率が、15%と大幅に上昇。有料老人ホームや養

護・軽費老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、アパート、マンション、社宅、団地が対象となる。サービスの種類は、訪問介護、訪問入浴、訪問看護、訪問リハビリテーション、夜間対応型訪問介護が対象となる。

今後は増々、生活機能が向上し自立支援を目指したサービスの提供が求められる、介護と医療の連携、事業所と本人、ご家族との情報共有が求められていくと思われる。

職員数50人未満の小規模事業所が介護業界は70%である。こうした小さい事業所は大きな所の傘下に入れと国は言うが、会社の理念が違っていると、内容が変わって来るので、ここは、地域の皆さんに貢献しながら運営を見直す機会にしていきたいと考えている。

(居宅 柳田)



通常規模デイケア 6から8時間の利用単価の改定一覧表

	H24年改定	H27年改定	H30年改定
要介護1	679単位(6~8時間)	726単位(6~8時間)	667単位(6~7時間)
要介護2	829単位	875単位	797単位
要介護3	979単位	1022単位	924単位
要介護4	1132単位	1173単位	1076単位
要介護5	1283単位	1321単位	1225単位

戦争と医師・看護婦

医療を業とする医師や看護婦も戦争に巻き込まれると一般市民と同様悲惨である。特に南方方面に派遣された終戦間際の医師がそれを語ってくれた。戦争の敗北が近づく頃、戦死者の遺骨を帰還船で送り返すこともままならず、南方方面に派遣された先輩医師の話では、最後には飯ごうに手首から先を遺骨として入れたが、戦況悪化し、そのうち指先だけになり、最後は血染めのハンカチ一枚になっていったという。

「戦争と看護婦」という赤十字看護婦さんの本によるともっと詳しくかいてある。元白梅学徒隊の看護婦として沖繩戦で



従軍した中山さんの話では約2000名の従軍学徒のうち、1000名が戦争で命を落としている。

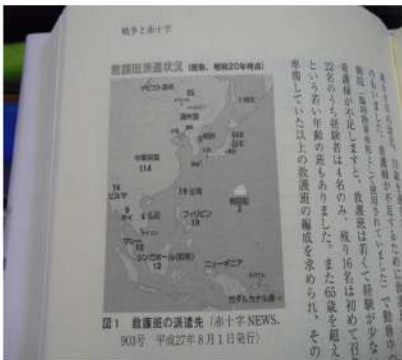
第二次世界大戦の後半の負けいくさでの医師や看護婦など医療専門家が命を落とす現場とは、修羅場であり、地獄図であり、一般兵士市民がその何倍何十倍も命を落としている。いま世界各地で戦争や紛争が起きている。その根源には経済摩擦の激化がある。世界各地で戦



争の炎がおきている。元をただせば、私たちの日常生活活動のなかにその



根源が、摩擦がおきているのではないか。それを労働科学者による説明す



る事が必要な時代になっている。

（戦争と看護婦…図書刊行会発行・*大戦中、看護婦が「戦時召集状」によって召集された事実を知っていますか？
*看護婦たちが、あの大战でのちをかけて救護活動をした史実を、多くのインタビューと豊富な資料によって、いま明らかにする。）

